

## 公開講演会

講師 **ミランダ・シュラース**さん

### 《脱原発のドイツに学ぶ》

福島原発事故から8年。未だ「原発ありき」の政策を変えることのできない日本。

一方、ドイツは福島原発事故を受け、すぐに脱原発へと政策転換をしました。

この政策転換を提言した「倫理委員会」元委員のミランダ・シュラースさんに、その経緯を聴きます。

また、政策転換後のドイツの現況と、高レベル核廃棄物処分についても触れて頂きます。

私たちの進むべき道を、と一緒に考える機会になればと思います。

日時

**2019年5月28日(火)**

**14:00 ~ 16:30**

13:00開場

場所

**日本聖公会 東北教区主教座聖堂  
仙台基督教会**

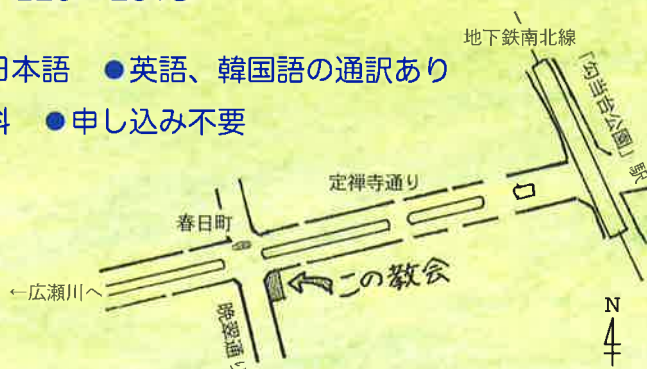
(仙台市青葉区国分町2丁目13-15)

☎ (022) 225 - 2818

- 講演は日本語 ● 英語、韓国語の通訳あり
- 入場無料 ● 申し込み不要

#### ミランダ・シュラースさん 略歴

「ドイツ原子力・再生エネルギー政策」諮問委員を経て、現在はミュンヘン工科大学教授。専門は公共政策、環境、地球変動。2011年にドイツ連邦政府によって設置された、「安全なエネルギー供給に関する倫理委員会」委員も務めた。著書に、岩波書店「ドイツは脱原発を選んだ」、「地球環境問題の比較政治学」、「女性が政治を変えるとき(共著)」等。



仙台基督教会 (駐車場はありません)